

# 学術講演会

(東北の復興と再生可能エネルギーの活用)

主催：岩手大学物質機能・エネルギー科学系、  
SPERCスマートエネルギー工学研究グループ  
共催：岩手大学COC推進室、INSニューマテリアル研究会  
日時：2016年2月10日(水) 15時～17時  
会場：岩手大学工学部 テクノホール(盛岡市上田4-3-5)

高遠秀尚氏(産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究センター・  
太陽光チーム長)  
「太陽電池の開発動向とその課題」

太陽光発電は、固定価格買取制度の開始後、メガソーラーとよばれる大規模発電所が各地に建設されるなど、その導入が拡大してきた。本講演では、太陽電池(特に結晶シリコン太陽電池)の研究開発動向とその課題について述べるとともに、2014年4月に郡山市に開所した産総研福島再生可能エネルギー研究所における研究についても併せて紹介する。

山田周生氏(写真家、ジャーナリスト、ユナイテッドグリーン代表理事)  
「天ぷら油で地球一周と震災から学ぶ未来の生き方とは」

天ぷら油からバイオディーゼル燃料を作るプラントを自作し、2007年にそれを車に搭載して地球一周に出かける。各国で天ぷら油を調達して精製し車の燃料を作り、ガソリンスタンドに一度も寄らずに化石燃料なしで地球一周を達成。帰国後日本一周の旅に挑戦していたが岩手県を通過中に東日本大震災に遭遇し、化石燃料を必要としない利点を活かし、支援活動をすぐに開始する。その後沿岸部にエネルギー自給できるエコハウスの建設、食の自給を目指して震災農地、休耕田の復活。海外で見てきたエネルギー事情や未来の暮らしや地球について話をさせていただきたいと思います。



問い合わせ：工学部 吉澤正人  
yoshizawa@iwate-u.ac.jp  
019-621-6354